

自社の「経営革新」を実現できる
実践力を備えた自立した経営幹部を育成します。

第37期

コースNo. 2

経営管理者 研修

対象者

経営者・経営幹部
経営管理者と
その候補者

期間 平成28年10月17日(日) ▶ 平成29年9月15日(金) 5日間×12ヵ月 (全60日間)

定員 30名 受講料 547,000円 (教材費含む・税込) ※受講料は変更になる場合があります。



2 経営管理者研修

創造的な発想と主体的なリーダーシップでめざせ経営革新!

固定概念を打ち破り、
新たに独創的な価値を創る
経営革新を牽引する
「経営管理者」を目指す!

自社の経営革新を推進する経営管理者に必要な幅広い知識やマネジメントの実践法などについて、総合的かつ体系的に習得していただけるカリキュラムとなっています。
厳しい経営環境の今だからこそ、企業の成長と発展を担う幹部人材育成のために本コースをご活用いただき、自社の経営体質の改善・強化、そして発展的な未来の創造にお役立ていただくことをお勧めいたします。

経営管理者研修の 3つの特長

実践的

毎月5日間ずつ受講するインターバル開講により、受講しやすく、また、学んだことを自社で確認・応用しながら体得できる「実践的」なコースです。

参加型

豊富な演習やグループ討議を通じて、受講者自身が主体的に考えながら進める「参加型」のコースです。

課題
解決型

専門家が指導するゼミナールを中心に、受講者それぞれの課題に応じた実務的できめ細かな個別指導を行う「課題解決型」のコースです。

研修目標

経営管理と管理者の役割についての徹底理解!

主体的なリーダーシップを発揮するための自己革新!

企業活動の全体像を把握し幅広い経営者の視点を獲得!

経営の分析手法やマネジメント手法を体系的に習得!

経営ビジョン・戦略の立案能力の獲得・実践!

自社の経営革新を実現する具体的ノウハウのマスター!

スケジュール

	テーマ	日程		テーマ	日程	
ステップ1	第1回	自己革新への取り組み方	H28. 10/17 (日)~10/21 (金)	第7回	プランづくりの進め方	H29. 4/10 (日)~4/14 (金)
	第2回	企業経営と経営管理	H28. 11/7 (日)~11/11 (金)	第8回		H29. 5/15 (日)~5/19 (金)
	第3回	経営管理者の能力開発	H28. 12/5 (日)~12/9 (金)	第9回		H29. 6/12 (日)~6/16 (金)
ステップ2	第4回	経営管理手法と実践	H29. 1/16 (日)~1/20 (金)	第10回	H29. 7/10 (日)~7/14 (金)	
	第5回		H29. 2/13 (日)~2/17 (金)	第11回	H29. 8/21 (日)~8/25 (金)	
	第6回		H29. 3/6 (日)~3/10 (金)	第12回	H29. 9/11 (日)~9/15 (金)	

※当校の研修を受講される方々を対象とした助成制度について(P41)

カリキュラムの流れ

ステップ1 [第1回～第3回] 管理者としての自己革新と能力開発

- 自己革新の取り組み [自己理解、自立型人材]
- 企業経営と経営理解 [ビジネスシミュレーション]
- 経営管理者の能力開発 [役割とスキル、経営戦略プロセス]

▼

■管理者としての基礎能力
[経営管理者としての気づき・意識付け・意識改革ができる]

▼ゼミナールの概要

- ・受講者の方が専門的な知識を深掘りし、高いレベルでの成果を目指すためのものです。
- ・受講者の方全員が、いずれかのゼミナールに所属し、学習を進めていただけます。
- ・ゼミナール論文として、「自社革新プラン」を作成し、発表していただきます。

ステップ2 [第4回～第9回] 経営管理の実務とプランの構築

- 経営と戦略・ビジョン
- 自社の現状分析 [人事・組織・財務会計・マーケティング・営業・法務]
- 経営管理の手法
- 経営計画への具体化 [具体的プランの策定(利益目標・実行スケジュール等)、プレゼンテーション]

▼

■管理者としての職務遂行能力・構想力
[経営管理者に必要な管理手法を習得するとともに自社・自部門の現状・問題が把握できる問題を解決して自社・自部門を高めていくプランづくりができる。]

ゼミナール [第5回～第12回]

▼自社革新への取り組み

経営戦略、マーケティング、財務管理、人事・労務、組織マネジメント、生産管理

- ・自社の現状把握
- ・専門知識の習得
- ・革新への目標設定

▼

※ゼミナール論文骨子構築・中間発表

専門家による個別指導

相互活用

ステップ3 [第10回～第12回] 実践力の向上

- リーダーシップ [自立とリーダーシップ、部下指導]
- マネジメント [プロジェクトマネジメント、リスクマネジメント]
- 判断力・決断力の強化 [マネジメントゲーム]

▼

■管理者としての実践力 [経営管理者に必要な実行力、対応力を身につける]

▼

経営体質の強化策

▼自社革新プランの策定

目標実現に向けた課題の整理

▼

戦略・行動プランの策定

▼

※ゼミナール論文に取りまとめ・発表

▼

自社への「革新プラン」提言

相互活用

経営全体の広い視点から自社の革新的な未来を創造し、その更なる発展を牽引する自立した経営管理者へ!

卒業生の声



自社・自己の方向性を見つめ直す絶好の機会

中小企業経営のなんたるかが詰め込まれた総合的な研修カリキュラム。中長期断続的に続く研修期間。バラエティに富み、多彩な講師陣。普段接し得ない他業種の研修生(仲間)達。それぞれの要素がバランスよく組み合わせられ、新鮮で、かつ、刺激的な研修でした。

初めのうちは、研修内容の濃さに少々プレッシャーを感じていましたが、序盤を過ぎる頃には、それもなくなり、研修に集中することができ、純粋に学ぶことができました。経営管理からの視点でも学べ、自社及び自己の再確認も出来る講義内容もあり、今後の自社の方向性を考えるのにも、自身を見直すのにも、非常に役立ちました。

1年・60日間の長いようで短かった経営管理者研修を終え、今こうして振り返ると、この研修がいかに特異で、いかに貴重な研修であったかがよくわかります。このような機会を得られたことは自身にとって、非常に幸運なことであると思えます。研修受講にあたり、内外問わず、その関係者の皆様には、深く感謝しております。「卒業＝新たなスタート」と肝に命じ、当研修で学んだことを活かし、より多く自社及び社会へ貢献していきたいと思っております。

株式会社ティー・アイ・シー
第二システム部 部長
船越 悟

経営者の声



企業を革新に導く新たな経営の息吹に期待

中小企業の事業運営にとっておざなりになりがちなのが、次代を担う経営管理職層の育成プログラムの定型化です。ともすれば我々経営陣が「俺様のやり方や後ろ姿を見て学べ」と言った感じで、体系的なマネジメントを学習する機会を否定する雰囲気を出してしまっているのではないかと内省する感もあります。勿論、先輩経営陣のやり方からは重要なヒントを得る事は決して無駄ではありませんが、企業が発展成長していくには、従前のやり方を現在の置かれている状況に照らして検証し改善や革新を加えていく必要があると思います。中小企業大学校への派遣の意味はそこにあります。新しい経営の息吹を吹き込んでくれることに期待しています。

株式会社ティー・アイ・シー
代表取締役社長
小河原 清治